



Program

第32回 格子欠陥フォーラム reunion

2023年9月16日（土）

@ 東北大学 金属材料研究所 2号館 会議室
+ zoom (ウェビナー形式)

主催 日本物理学会 領域10 格子欠陥・ナノ構造分科
共催 東北大学 金属材料研究所
後援 応用物理学会 薄膜・表面物理分科会
自然科学研究機構 分子科学研究所

本会は、前身の格子欠陥会議から数えて 60 年以上続く歴史ある研究会です。格子欠陥は結晶の性質を大きく左右する因子として様々な材料で議論されていますが、材料ごとに主戦場となる学会が異なるため、意識して積極的に異分野交流しなければ学問が細分化し、格子欠陥学全体としてどこまで理解が進んでいるのか、全容が把握できなくなってしまいます。ここ数年は特に、学会がオンラインで開催されるのが当たり前という状況が続いておりましたので、人的な交流の機会が失われ、若い世代の人達にとっては異分野交流のハードルが高くなってしまいました。今回は久々に対面で開催致します。ハードルを下げるための新たな試みとして、事前登録不要・参加費無料で実施致します。オンラインで参加することも可能です。講演自体は専門家向けですが、専門家による討論の場を体験してみたいという若い方には絶好の機会かと思えます。そうした機会は中々無いものです。是非ご参加ください。

オンラインの zoom はウェビナー形式です。下記リンクにアクセスして氏名、メールアドレス、会社名／学校名、役職/学年を入力すると、ウェビナーID とパスコードがメールで届きます。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_Z5-OtDOqQiONhLVFcmfMcg



プログラム

【 午前のセッション】

09:00-09:05 Opening

09:05-09:35 千葉晶彦 東北大学・未来科学技術共同研究センター

格子欠陥と耐摩耗性 --負の積層欠陥エネルギーを有する医療用コバルト合金--

09:35-10:05 田中將己 九州大学

格子欠陥と破壊, 延性—脆性遷移 --転位による応力遮蔽効果と靱性--

10:05-10:35 山口正剛 原子力機構

格子欠陥と第一原理計算 --金属の粒界脆化とすべり変形について--

10:35-10:50 <break>

10:50-11:20 湊 丈俊 自然科学研究機構・分子科学研究所

格子欠陥と表面界面科学 --原子レベルでの物性解明--

11:20-11:50 河野翔也 九州工業大学

二酸化チタン表面の酸素欠損配置

--走査プローブ顕微鏡像と画像解析・第一原理計算による解析--

11:50-13:20 <lunch>





【 午後のセッション】

13:20-13:50 田中真悟 産業総合技術研究所

格子欠陥とグリーンイノベーション・グリーントランスフォーメーション

13:50-14:20 Md Zakir Hossain 群馬大学

Avidin-biotin technology in graphene based biosensor

14:20-14:35 <break>

14:35-15:05 義永那津人 東北大学・材料科学高等研究所

Phase-Field Crystal モデルを用いた結晶構造のダイナミックス

15:05-15:35 荒木優希 金沢大学

格子欠陥とガラス表面の微視的ぬれ

15:35-15:50 <break>

15:50-16:20 近藤創介 東北大学・金属材料研究所

格子欠陥と原子力

16:20-16:50 宮本吾郎 東北大学・金属材料研究所


鉄鋼における粒界、異相界面と溶質元素の相互作用

16:50-17:20 西谷滋人 関西学院大学

21 世紀の格子欠陥研究に残された課題 2003 から 20 年

17:20-17:35 総合ディスカッション & Closing





実行委員

熊本大学 松川義孝
東北大学 金属材料研究所 吉田健太

Contact : ym2@msre.kumamoto-u.ac.jp